ANNIVERSARY

広島市スポーツ協会 創立80周年記念事業

～スポーツで広島を元気に！～

スポーツで元気！ げんき再発見

平成29年 4月9日㊐ 開催

講演会　スポーツ庁長官

鈴木　大地 氏

スポーツがつくる 豊かな日本 ～広島への提言～

パネルディスカッション

広島のスポーツが 日本を元気にする

パネリスト

平岡　拓晃 氏
ロンドン・オリンピック
柔道 60kg級銀メダリスト

浦田　理恵 氏
ロンドン・パラリンピック
ゴールボール金メダリスト

門田　正久 氏
日本体育協会公認
アスレティックトレーナー
日本障がい者スポーツ協会
トレーナー部会長

山縣　浩一 氏
リオ・オリンピック銀メダリスト
山縣亮太選手の父

コーディネーター

小西　晶 氏
中国新聞社記者

参加者募集

【日　時】平成２９年４月９日（日）１３時～１６時４５分
【場　所】JMS アステールプラザ　中ホール　【記念式典】１３時～１３時３０分
【講演会】１３時３０分～１４時３０分【パネルディスカッション】１４時４５分～１６時４５分
【入場料】無　料
【募集人数】２００名 ※参加者には聴講券を送ります（応募者多数の場合は抽選）
【申込先】広島市スポーツ協会事務局「創立 80 周年記念事業」係
ハガキ　〒730-0042　広島市中区国泰寺町一丁目４番１５号
ＦＡＸ　０８２－２４９－３６４１
E-mail　keirikakari@sports-or.city.hiroshima.jp
【申込方法】①郵便番号②住所③名前④参加人数(２人まで)を記入し、お申込み下さい。
※この申込に記載いただく個人情報は、当協会の事務手続き及びご本人との連絡以外には使用しません。
【締切日】３月１０日(金)必着

手話通訳・要約筆記あり

主催：公益財団法人広島市スポーツ協会　共催：中国新聞社　後援：広島市　広島市教育委員会　公益財団法人日本オリンピック委員会

※当協会は昭和 12 年（1937 年）の設立から今年（2017 年）４月に創立 80 周年を迎えます。多数のご参加をお待ちしています。

申込書

【申込先】広島市スポーツ協会事務局 「創立 80 周年記念事業」係

ハガキ　〒730-0042　広島市中区国泰寺町一丁目４番１５号
ＦＡＸ　０８２－２４９－３６４１
E-mail　keirikakari@sports-or.city.hiroshima.jp

郵便番号 住　所	（〒　　ー　　）		
名　前		参加人数 （2人まで）	人

※この申込用紙は FAX またはハガキに張り付けてご利用ください

【締切日】3月10日(金)必着

【会場】 JMS アステールプラザ

駐車場(有料)には限りあります。出来るだけ公共交通機関をご利用ください

講師紹介

講演会

鈴木（すずき） 大地（だいち） 氏

スポーツ庁長官

競泳・背泳ぎ選手として 1984 年ロサンゼルス、1988 年ソウル五輪に出場。
ソウル五輪では男子 100 メートル種目で金メダルを獲得。
順天堂大学卒業後、米コロラド大学ボルダー校客員研究員、
ハーバード大学のゲストコーチなどで留学を経験。
2007 年順天堂大学で医学博士号取得。
2013 年同大学教授、日本水泳連盟会長、日本オリンピック委員会理事就任。
2015 年 10 月スポーツ庁長官（現職）。

パネルディスカッション

パネリスト

平岡（ひらおか） 拓晃（ひろあき） 氏

ロンドン・オリンピック
柔道男子 60kg級銀メダリスト

広島県広島市出身。父の影響により 6 歳で柔道を始める。近畿大学附属福山高等学校（現・近畿大学附属広島高等学校福山校）・筑波大学体育専門学群卒。現在は、筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程にてスポーツ医学を専攻。日本や世界で柔道教室を行なっている他、スペシャルオリンピックスや JADA のドーピング啓発活動にも参加。ロンドンオリンピック柔道競技男子 60kg 級 銀メダル。第 29 回パリ世界柔道選手権 男子 60kg 級 銀メダル。全日本選抜体重別選手権大会 60kg 級 5 連覇など。

浦田（うらた） 理恵（りえ） 氏

ロンドン・パラリンピック
ゴールボール金メダリスト

熊本県生まれ。福岡在住。20 歳の時に急激に視力低下し、『網膜色素変性症』と判明。現在は左目の視力はなく、右目も視野が 95%欠損しており強いコントラストのものしか判別できない。26 歳のときに国立福岡視力障害センターに入所。マッサージや鍼・灸などを学んでいた際、ゴールボールに出会い競技をスタート。北京パラリンピック 7 位。ロンドンパラリンピックで、夏季・冬季併せて日本史上初となる団体競技での金メダルを獲得。厚生労働大臣賞、福岡県民スポーツ栄誉賞など数々の賞を受賞。リオデジャネイロパラリンピックで主将として活躍し 5 位入賞。

門田（もんでん） 正久（まさひさ） 氏

日本体育協会公認アスレティックトレーナー・日本障がい者スポーツ協会トレーナー部会長

国立呉病院リハビリテーション学科理学療法学科卒業後、医療法人朋和会西広島リハビリテーション病院などを経て、現在は、ＮＰＯケアユナイティッド理事長・医療法人社団飛翔会理事・㈱ケアウィング取締役。アテネパラリンピックで初の本部トレーナーとなり、以降、北京・ロンドン・リオデジャネイロの本部トレーナーとして活躍。多様な経験や卓越した指導により、各種スポーツ学会やセミナーの講師も務めている。
東京 2020 オリンピック特別強化委員会委員、日本パラリンピック運営委員・強化委員等を務めるなど、障がい者スポーツトレーナーの草分け的存在。

山縣（やまがた） 浩一（こういち） 氏

リオ・オリンピック 陸上男子
400m リレー銀メダリスト
山縣亮太選手の父

広島出身。スポーツ用品販売業㈱ニシヒロ代表取締役。生粋の「広島人」。銀メダリスト山縣亮太選手の父であり、ロンドン・リオオリンピックと連続して現地で応援。亮太選手の幼少期から銀メダル獲得に至るまでの過程を、子供の成長とあわせて親の視点からお話しいただける講演会の講師も務める。オリンピック憲章にも書かれてあるオリンピズム「肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学」を追求することで、オリンピックに出場できなくても誰でもオリンピアンになれる可能性があると語る。

コーディネーター

小西（こにし） 晶（しょう） 氏

中国新聞社記者

1992 年中国新聞社入社。運動部・千代田支局などを経て、現在、運動部デスク。入社 1 年目からプロ野球・広島東洋カープの担当を務め、カープ取材歴 15 年。2005 年から 9 年間、本紙のコラム「球炎」を執筆。読者からは「辛口」と評判。2001 年からサンフレッチェ広島・サッカー日本代表の担当を 4 年務め、2002 年サッカーワールドカップ日韓大会を取材。2014 年から五輪担当となり、2014 年仁川アジア競技大会、2015 年北京世界陸上、2016 年リオデジャネイロ五輪を取材。1999 年から 2 年間は運動部の年間連載を担当。1999 年「カープ 50 年」2000 年「アマスポーツ NOW」で、2 年連続でミズノスポーツライター賞を受賞。